

第111号
ボランティア情報 ふじいでら

プラム

社会福祉法人 藤井寺市社会福祉協議会
藤井寺市ボランティアセンター
藤井寺市ボランティア連絡会
〒583-0035 藤井寺市北岡 1-2-8
TEL 072-938-8220
FAX 072-938-8221
E-mail fureai@silver.ocn.ne.jp
URL <http://www.fujiidera-shakyo.net>

金魚 (作：金子みすず)



月はいきするたびごとに あのやわらかな、なつかしい
月のひかりを吐くのです。

花はいきするたびごとに あのきよらかな、かぐわしい
花のおいをはくのです。

金魚はいきするたびごとに あのお凧(とぎ)の継子(ままこ)のよ
うに きれいな宝玉(たま)をはくのです。

夏のボランティア体験プログラム 開催！！

毎年、7月1日～8月31日まで、大阪府社会福祉協議会、各市町村社会福祉協議会の共催で、大阪府内の社会福祉施設やボランティアグループ、NPO 団体の協力により、ボランティアを気軽に体験してもらうためのプログラムを提供しています。

夏祭りなどの行事、利用者の方と一緒に過ごす日常活動など様々なプログラムが用意されています。

この機会にボランティア活動を通してたくさんの人と出会い、自分の世界を広げてみませんか？

①プログラム提供期間 7月1日～8月31日

*原則として同一施設における活動は1～3日程度としています。

②申込み受付期間 6月21日～8月20日

*申込み用紙は藤井寺市ボランティアセンターで、6月21日以降、配布します。電話でもお気軽にお問い合わせ下さい。

③保険 *行事参加者傷害保険で、参加者の自宅と活動場所との往復・プログラム中の事故を保証します。体験プログラムに参加される方は、大阪府社会福祉協議会が保険料を負担し、加入します。

*次号(8月10日発行予定)、藤井寺市内のプログラム参加施設の特集をします。



【告知】

傾聴基礎講座



『心の通じ合うお話の聴き方勉強しませんか』

*より良い人間関係を築くために最も必要とされているのは『聴く力』です。相手の話をじっくり『聴く力』を身につけることで、コミュニケーションをスムーズにし、互いに理解し合えるようになります。

日時：平成24年11月16日（金）午後1時30分～午後4時30分

場所：ふれあいセンター（福社会館）2階講座室

講師：笹木 庸子（寝屋川14の耳代表）

問合せ先：傾聴グループ「やまびこ」 TEL：072-939-1192（代表：鈴木）

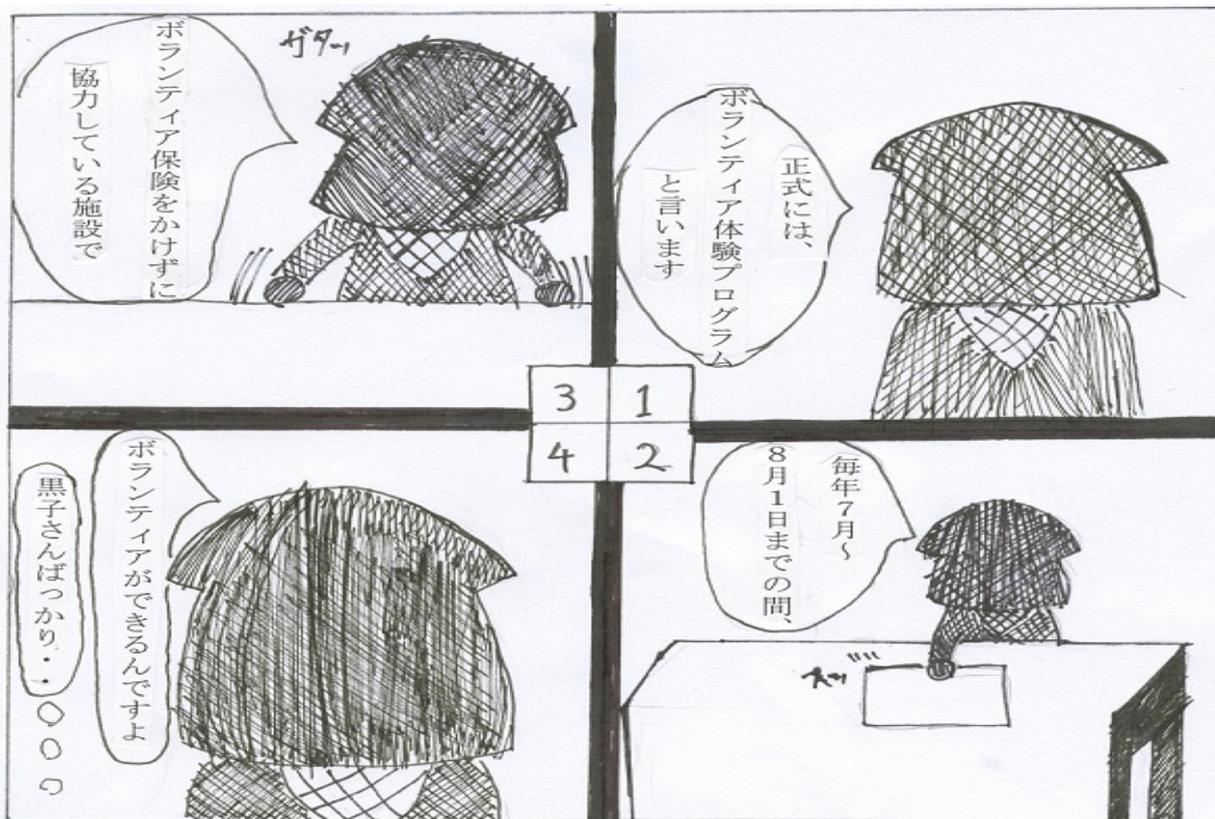
♪プラムな関係♪

第11回『ボランティアセンターにて その6』

（四天王寺大学マンガ研究部 北野 和樹）

【話のポイント】

ボランティア体験プログラムのボランティア保険は、大阪府社会福祉協議会が保険料を負担し、加入します。プログラムに関する保険料の個人負担はありません。



(つづく)

藤井寺市内に住む4・5・6年生のみなさん！

小学生ボランティア体験参加者募集！

今年も「小学生ボランティア体験」の参加者を募集します。いくつでも申し込むことができます。たくさんの申し込みをお待ちしています（先着順）。

体験メニュー	日時	持ち物	場所
おもちゃづくり体験	7月30日（月） 午前9時半 ～午前11時	筆記用具 はさみ	ふれあいセンター （福祉会館）2F 【定員：30名】
お手玉体験	7月30日（月） 午後1時 ～午後3時	筆記用具 裁縫セット	ふれあいセンター （福祉会館）2F 【定員：30名】
認知症サポーター体験	7月31日（火） 午前10時 ～正午	筆記用具	ふれあいセンター （福祉会館）2F 【定員：30名】
おはなし読み聞かせ体験	8月1日（水） 午前10時 ～午後2時	筆記用具 お弁当	藤井寺市立図書館 2F 【定員：15名】
朗読体験	8月2日（木） 午前10時 ～午後3時半	筆記用具 お弁当	アイセルシュラホール 3F 【定員：15名】
手話体験	8月3日（金） 午前10時 ～正午	筆記用具	ふれあいセンター （福祉会館）2F 【定員：30名】
点訳体験	8月3日（金） 午後1時半 ～午後3時半	筆記用具	ふれあいセンター （福祉会館）2F 【定員：30名】



【申し込み・問い合わせ先】

藤井寺市社会福祉協議会
TEL：072-938-8220
FAX：072-938-8221

求む！ボランティア

(連絡先)

TEL : 072-938-8220

MAIL : fureai@silver.ocn.ne.jp

募集NO.32

一般、中高生や大学生のボランティア募集です。

活動内容：親子（0歳～就学前）の水遊びの見守り

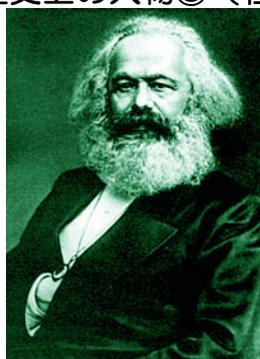
日時：8月7日（火）、8日（水）、21日（火）、22日（水）、
28日（火）、29日（水） 10:30～11:30

実施場所：つどいの広場 ふじいでら（住所：藤井寺市小山9-1-16）

問・申込みは直接発信者へ：TEL 072-936-0011 【スタッフ】



歴史上の人物⑤（社会福祉分野）



アダム・スミス（??～1790年）

イギリスの経済学者。「経済学の父」と呼ばれる。

主著「国富論」の中で、スミス以前の低賃金論に反対して、その成員の圧倒的多数が貧しい社会が隆盛で幸福であろうはずはないとして高賃金論を展開した。収入の相当部分を慈善事業に寄付した。

ボランティア用語集

NO. 6

(18) 地域通貨 (community based currency)

地域の活性化や社会問題の解決のためにNPO や地域団体が発行する「利息」を生じさせない疑似通貨である。米国のタイムダラー、日本のエコマネーなどが有名。

(19) チャリティ (charity)

原義は「慈愛」で、寄付を意味するが、広義に使うとき(主にイギリス)は、慈善活動および慈善団体一般を意味する。またイギリスで狭義には、活動の目的が

- (1) 貧困の救済
- (2) 宗教の振興
- (3) 教育の振興
- (4) 地域社会に利益をもたらすその他の活動であるとチャリティ委員会で認められた公益資格のこと。この資格を有する団体をチャリティ団体という。

(20) デジタルディバイド (digital divide)

直訳すると「情報格差」。情報技術(IT)の進展で、新しい技術を使える人、使いこなせる人と使いこなせない人との間に格差が生じている状態をいう。高齢者と若者との世代間のデジタルディバイド、先進諸国と発展途上国との間のデジタルディバイド問題などという。

【開所時間】 月～金曜日（土・日・祝除く） 午前9時～午後5時30分